

17年間無災害を継続して

小坂宮林署 馬瀬萩原森林事務所 基幹作業職員 小林 昇

〈はじめに〉

私は昭和33年に下呂宮林署馬瀬担当区に造林手として採用され、昭和50年、32歳の時に班長に任命されて以来20年間班長を務めています。

班長になって3年目に、同僚がナタで左足を切創するという休業11日間の災害が発生しましたが、それ以来17年10か月に亘って無災害を継続しています。

これまで無災害を継続してこれたことは、運が良かったことと班員一人ひとりの努力の積み重ねの結果であり、これといった秘訣はありませんが、私達の作業班で日常行っている安全活動について紹介します。

〈日常の安全活動〉

1 TBM

- (1) 班長は作業段取りなどについて話しますが、あまり細かいことは言わず、安全対策などについては班員みんなで考えてもらうようにしています。
- (2) 班員の健康状態を見て、体調の悪い者がいる場合はできるだけ配慮した作業配置を行うように努めています。

2 安全当番と安全週番

- (1) 日替わりの安全当番は班長の補佐的な役割を担当することとし、具体的には安全懇談会や緑十字の日の準備・後片づけなど行っています。
- (2) 一週間交代の安全週番は、安全旗の掲揚、TBMの進行、安全日誌の記入、ヒヤリハットの聞き取り、休憩小屋の清掃・整理整頓、昼食のお茶の準備などを担当しています。

3 安全日誌の活用

- (1) 当日にTBMで話し合ったことやヒヤリハットの他に要望事項などを記入しています。
- (2) 毎月1回宮林署へ提出して、署長以下各安全管理者などに回覧しコメントを付して戻って来るようにしています。このことは現場と本署をつなぐ大きな役割を果たしています。

4 刃物災害の防止対策

- (1) 下刈鎌、除伐鎌の柄は、鎌の刃から3分の1のところビニールテープで目印を付けて、そこから刃先の方は握らないようにしています。
- (2) 鎌、ナタ、手ノコの柄は、雨で濡れたり雪が着くと滑り易くなるので、滑り止めテープを巻き付けています。

5 危険箇所の表示

決壊や落石の恐れのある林道や転落の恐れのある歩道には、トラロープで危険表示を行っています。

6 手作り標識

全員が現場をよく知ることや緊急連絡の遅れがないことが安全対策を進めていく上で重要と考え、林道沿線に林班界、歩道入り口、作業場所などそれぞれ手作り標識を立てています。

7 熊対策

作業中に熊を見かけビックリしたことがあって以来、熊のいそうな現場の作業は爆竹を鳴らしてから入ることにしています。

8 アオバアリガタハネカクシ対策

夏山の笹生地での作業では「アオバアリガタハネカクシ」という虫が首筋から入り込み、この虫をつぶすと虫の体液により皮膚がただれ、ひどい場合は2週間程も休業しなければ治らないこともあるので、対策として笹生地での作業中は首に手ぬぐいを巻くことにしています。

9 緑十字の日

毎月5日が緑十字の日と定められていますが、緑十字の日には休憩小屋などの環境整備、血圧測定、安全懇談会などを実施しています。

10 交通事故防止の啓蒙

昨年、岐阜県の交通事故による死者は全国で1～2を争う増加率であったと聞いていますが、日頃、交通事故には十分気をつけなければならないと考えています。

全国交通安全旬間中には、ミニバスに交通安全の看板を掲げて交通事故防止の啓蒙に努めています。

11 チークムワークづくり

チークムワークの良い明るい班づくりも労働安全の確保には大変重要と考え、日頃、班員共通の話題づくりに努めています。

その1例として、大相撲の場所毎に一人ひとりが成績予想をして、その順位に応じてささやかな賞品を渡すようにしています。ふだんは無口な者が成績がよいと途端に元気者になったりすると班が活気づいたりすることがあります。我が班の伝統になって30年間続けているが、これのとりまとめも班長の仕事であります。

〈おわりに〉

私達の班では、はじめに申し上げたように17年間無災害を継続していますが、けっして安全活動や安全対策が完ぺきであった結果とは思っていません。たまたま運が良かったために災害に至らなかったこともあります。

昔から「ケガと弁当は手前持ち」と言われていますが、労働災害をなくするには作業員一人ひとりがその気になって安全作業に徹することがまず第一と考えています。

そのために私達の班では、

- ① 新しい作業地に入る前には、全員が現場の状況を把握すること、
- ② 安全対策が現場の実態に合っているかを全員で考えること、
- ③ 安全対策などは、出来るだけ役割を分担して進めること

に心がけ、ただ今紹介しました安全諸対策を進めています。

私達の班も年々高齢化が進んでいますので、ムリ、ムラ、ムダを省き、今後も安全作業の徹底に一層の努力をして参りたいと考えていますので、皆様方のご指導をよろしくお願い致します。



作業前のラジオ体操



新しい作業地での現地把握